



## 地震避難訓練

15日、本年度3回目の災害訓練となる地震避難訓練をおこないました。地震と言えば平成17年3月20日に起きた福岡西方沖地震（福岡県玄界灘沖で発生。マグニチュード7.0、最大震度7弱。筑前町震度5弱）が思い起こされます。早いもので今年の3月で11年目を迎えます。5年生が産まれた年度に起きた地震です。私はこの時、西区にある高校の体育館にいましたが、立っておられないくらい激しくフロアーが揺れ、フロアーに置かれていた机や椅子がまるでスケートボードのように右へ行ったり左へ行ったりしたのを覚えています。天井の梁に引っかかっていたボールやシャトル、照明灯についていたカバー、ほこりなどが落ちてきて、体育館が騒然となりました。また、館内にいた人たちが一斉に出入口に集中したため大パニックとなりました。この会場では大きなけが人は出ませんでした。この地震によって福岡県や佐賀県で1、200人ももの負傷者が出ました。

この時私が感じたのは、大きな地震では、上から落ちてくるものと、倒れてくるものに気を付けなければならないということでした。災害はいつ・どのような場所で起きるかわかりません。被害から身を守るには、その場所や状況に応じてあわてずに落ち着いた判断や行動をすることが大切です。

## 薬物乱用防止教室

1月19日、福岡県警察本部・少年サポートセンターより講師をお招きし、5・6年生を対象に薬物乱用防止教室を開催しました。

芸能人の薬物使用についてのニュースを時々耳にしますが、最近では、一般市民や未成年者の乱用も深刻な社会問題となっています。

講師の先生から、

○薬物を乱用すると、体や脳の大切な部分が壊れてしまい、元にもどらないことがある。

○一度使用してしまえば、そこから抜け出せなくなり人生を狂わせてしまう。

○最近では、薬物と分からないように、違う名前で売られたり、「違法ではない」・「ダイエットに効果がある」などと言って売られたりしている。

などについて詳しくお話しをしていただきました。また、薬物を進められた時の断り方について、児童が役割演技をおこない、目に見える形で具体的な学習をおこないました。

私たちは、薬物に対して正しい知識を持ち、もし、薬物等の誘いが合った場合は、「ダメ、絶対」と断る勇気を持たなければなりません。



## ■ 見守り隊のみなさま「ありがとうございます」

12月末、校区内において、不審者による本校児童へのつきまとい事案が発生しました。

このことを受けて、二地区では、下校時刻に有本区長さんをはじめ、区三役、見守り隊員の方々による安全パトロールを実施していただいています。

3学期に入って寒い日が続き（12日の気温は5℃）、冷たい風に震えながらのパトロールになりました。

私が見守り隊の方々に「寒いので早めに切り上げてください」とお願いしたら、「子どもたちのためだ」と笑って返事を返していただきました。

その言葉に私は頭の下がるおもいでした。

児童のみなさん、見守り隊や登校指導・下校指導をしていただいている方々には、「ありがとうございます」という言葉で気持ちを伝えてください。



## ■ 給食への異物混入について

学校よりのお便りでお知らせしましたが、8日（始業式）の給食に、虫が混入しておりました。保護者のみなさまから寄せられたご意見の中に、学校への質問がございましたので、この場をかりてお答えさせていただきます。

○虫が入っていた児童は18名より多いのではないかと。

虫の混入発覚後、26名の児童が「虫が入っていた」と担任に届け出ました。そのうち8名のものは虫ではなく、出汁として使ったかつお節の一部や、かつお菜の斑紋でしたが、18名の給食に虫が混入していました。しかし、担任に届け出していない児童や、虫の有無を確認せずに食管にもどした児童も多く、ご指摘の通り、虫が食器に入っていた児童は18人より多かったと考えます。

○入っていた虫の大きさは1ミリより大きかったのではないかと

虫の大きさは、当日実物を取り出して、職員・栄養教諭・調理員の3者で確認をしました。ご指摘を受けて、児童8名（8日に虫が入っていたと担任に届け出た児童のうち5・6年生）にも再度確認いたしました。7名の児童は1ミリもしくは1ミリ以下だったと答え、1名は2ミリくらいあったと答えています。しかし、前記の通り、職員が確認できていないものもあり、これより大きいものが入っていた可能性はあると考えます。

いろいろとご迷惑、ご心配をおかけ申し訳ありません。学校では再発の防止に全力を尽くしてまいります。